



# 世にも不思議なマラソン大会inケニア Qちゃんvsソーラーカー

CATCH UP

満面の笑顔を浮かべて、高橋尚子がケニアのナイロビを走る。微笑ましい光景ながら、どこか違和感を感じてしまうのは、脇を走る奇怪な物体のせいだ。小さなタイヤが付いていることから、かろうじてそれとわかるこの車、運転しているのはフリードライバーの篠塚建次郎氏である。

第二回「ソトコト サファリマラソン」が開催されたのは、現地時間の二十三日。ハーフマラソンのためにケニア中から二千人のランナーと八百人のボランティアが集結、そしてそれをさらに盛り上げたのが、ゲストランナーであるQちゃんと世界で初めて先導車を務めたソーラーカーというわけだ。

昨年三月にレースを引退して以来、フルマラソンは走っていないQちゃん。篠塚氏と会話を交わしながら楽しそうに走っていたのだが、このソーラーカーとの対決(?)は期せずして現役時代を思い返すきっかけになった様子。

「現役の時、私は先導車の排気ガスを吸いながら走っていました。もしあのときソーラーカーだったら、もう少しタイムは速かったかもしれません(笑)」(Qちゃん)

大会終了後は、「私も運転したい!」と自ら乗り込むほどの気に入りようだった。

来年五月には故郷の岐阜に「ハーフマラソン」「高橋尚子杯」が誕生するという。

レース後、Qちゃんと篠塚氏は、そこでの再戦を誓いあったのだった。